

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	高岡法科大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	タカオカホウカダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	キャリア支援講座D
	学部・研究科等名	法学部
	担当教職員名・役職	朴木智司教授(就職支援センター長)、金岡克文准教授(就職支援副センター長)、西尾憲子准教授、木倉朋宏就職課課長、立浪裕美就職課係長
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	21
	受入企業等数	397
	受入企業等名	グンゼスポーツ(株)富山支店、富山商工会議所、(株)北日本新聞社、公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団チューリップ四季彩館、アルビス(株)、(株)まちづくりとやま、(株)三楽園、(株)メガスポーツスポーツオーソリティ高岡店、北陸コカ・コーラボトリング(株)、ネットヨタ富山(株)、東中江和紙加工生産組合、(株)アイベック、富山労働局、新潟県庁、立山町役場、高岡市役所、中田図書販売(株)、上越市立水族博物館、(有)ステップアップ、富山市役所
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ.7.中小企業でのインターンシップ.8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	スポーツクラブにおいて水中エアロビクス、スイミングスクールコーチ、プール監視、事務作業、清掃、等の説明及び実務体験を行い就業体験最終日には、スポーツクラブの新しいキャンペーンについてプレゼンテーションを行う。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している.2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している.6.当該インターンシップは、選択科目として実施している.8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年生を対象に、夏季休業期間中の5日以上インターンシップを組み合わせた教養教育科目「キャリア支援講座D」として開講している。本学科は、選択科目で学生の主体性に基づきより高い就業意識と職業観の育成への理解を促す。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている.4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている.2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全4回の事前指導の中で、インターンシップの心構え・守秘義務(1回)、意義・目的の理解(1回)、パソコン研修(1回)、ビジネスマナー(1回)を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験からの学びを自己認識する目的でインターンシップ後に実習報告書の作成・提出をさせている。また、実習内容等をパワーポイントで作成し学内就業体験発表会を実施し参加者間で意見交換を行っている。対外的には、本学代表を選し富山県インターンシップ就業体験発表会で他大学生、受け入れ企業等の前で就業体験を発表している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ中のモニタリングは実施していない。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている.4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	インターンシップ先で本学作成の評価表を用いて評価している。

要素④	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習報告書を用いて「実習で得られた成果」や「今後の学習や就職活動にあたえられると思われる影響」についてまとめさせ学生に自己理解を促す。また、インターンシップ先に就業体験評価をしていただき今後の就職活動に活かすとともに次年度のインターンシップに活かしている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間 5日間～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間 15日間(うちインターンシップ実施期間5日間～10日間)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
要素⑥	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	マッチングしたインターンシップ先において5日間～10日間の就業体験を行い、事前・事後研修と合わせて15日間のプログラムとして実施している。
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
要素⑥	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業に理解を得た上で学生を受け入れていただいている。また、企業等においてインターンシップ中の評価を実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	高岡法科大学
	担当部署名	就職課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	木倉朋宏
	電話番号	0766-63-3388
メールアドレス	shushoku@takaoka.ac.jp	